

佐賀市バイオマス産業都市構想 (全体概要図)

目指すべき将来像

～エネルギーと資源が循環するまち～

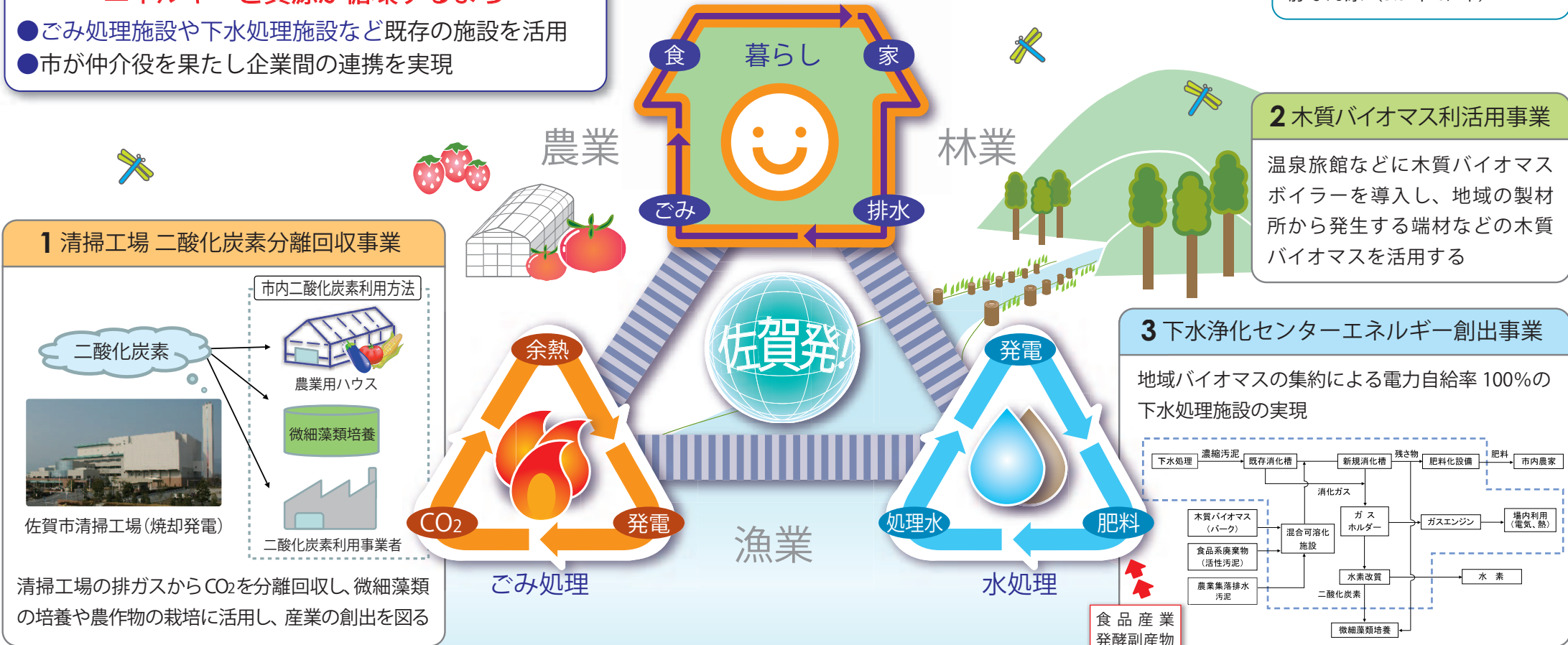
- ごみ処理施設や下水処理施設など既存の施設を活用
- 市が仲介役を果たし企業間の連携を実現

事業化プロジェクト

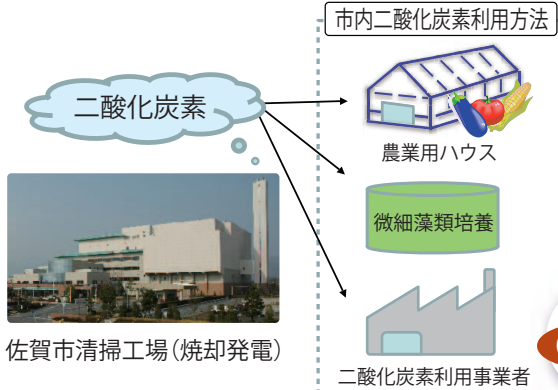
- 1 清掃工場二酸化炭素分離回収事業
- 2 木質バイオマス利活用事業
- 3 下水浄化センターエネルギー創出事業
- 4 微細藻類培養によるマテリアル利用及び燃料製造事業
- 5 家畜排せつ物と事業系食品残さとの混合堆肥化事業
- 6 事業系食品残さと有機性汚泥の混合利用事業

新たに活用するバイオマス

- 家庭系生ごみ (12.1 千 t / 年)
- 家庭系剪定枝等 (28.9 千 t / 年)
- 事業系食品残さ (15.0 千 t / 年)
- 下水污泥等 (3.1 千 t / 年)
- 製材工場等残材 (2.6 千 t / 年)
- 林地残材 (0.6 千 t / 年)
- 豚ぶん尿 (3.5 千 t / 年)



1 清掃工場 二酸化炭素分離回収事業



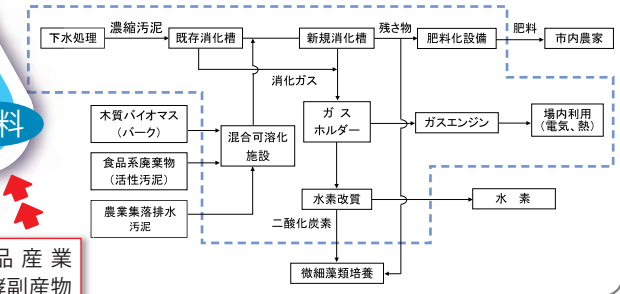
佐賀市清掃工場(焼却発電)
清掃工場の排ガスからCO₂を分離回収し、微細藻類の培養や農作物の栽培に活用し、産業の創出を図る

2 木質バイオマス利活用事業

温泉旅館などに木質バイオマスボイラーを導入し、地域の製材所から発生する端材などの木質バイオマスを活用する

3 下水浄化センターエネルギー創出事業

地域バイオマスの集約による電力自給率 100%の下水処理施設の実現



4 微細藻類培養によるマテリアル利用及び燃料製造事業

清掃工場で発生する二酸化炭素や下水浄化センターで発生する二酸化炭素及び下水処理水を活用した微細藻類の培養

5 家畜排せつ物と事業系食品残さとの混合堆肥化事業

6 事業系食品残さと有機性汚泥の混合利用事業

事業系食品残さと、家畜排せつ物や有機性汚泥を混合し堆肥製造やエネルギー利用を行う

